2017/11/21 合同会社 ハイルディングシステム <u>support@hyldingsystem.co.jp</u> http://www.hyldingsystem.co.jp

# 1. はじめに

### 1-1. DatabaseEvidenceCreator /こついて

DatabaseEvidenceCreatorは、ソフトウェア開発の試験工程における開発支援ツールです。 通常、試験対象となる機能がデータベースにアクセスして、検索処理や更新処理を行う場合、 検索処理であれば検査結果画面と検索対象テーブルのデータを、更新処理であれば 更新結果画面と更新対象テーブルの更新前データと更新後データをエビデンス (試験結果)として残します。

本ツールは、検索処理や更新処理の試験時に必要となるエビデンスの作成作業の負荷軽減を目的とします。

本ツールを使用することで、単体テスト・結合テストでのデータベースのエビデンスを簡単に作成できます。

また、本ツールにて更新用 SQL の実行、ロールバック、コミットが行えるため、開発対象となるシス テムのバージョンアップや不具合対応などでデータベースのデータコンバート(データ修正)が発 生した場合に、コンバート用 SQL を実行して更新内容の確認を行った後に、変更内容をコミットす ることが可能です。

## 1-2. 主な機能について

本ツールの主な機能は下記の通りです。

- ・エビデンスを Excel 形式のファイルで出力
- ・指定した複数テーブルのデータをボタン押下で一括取得
- ・更新前データと更新後データを比較してデータの差異を色で表現
- ・テーブル、シノニム、VIEW、任意の SQL からデータ取得可能
- ・WHERE 句とソート順を任意に指定可能
- ・WHERE 句に置換文字を指定可能
- ・取得したデータの値(コード値)を定義した名称に置換可能
- ・Excelのテンプレートを指定して出力結果の差し込みが可能
- ・更新用 SQL の実行が可能
- ・テーブル比較にて、指定したカラムを比較対象から除外
- ・テーブル比較にて、指定したカラムをプライマリーキーとして比較
- ・検索結果から SQL 文を生成してクリップボードにコピー
- ・複数のスキーマに対して同一の SQL 文を実行して結果を取得可能

### 1-3. 動作環境

1. OS Microsoft Windows XP/7 の動作する環境

# 2. Java

Java1.6 以上

- 3. 接続先 DB
  - Oracle 10g 以上 ※対応する JDBC ドライバをご用意下さい。

# 1-4. 免責事項

- 1. 本ソフトウェアはフリーソフトとなっております。 個人・法人に限らず利用者は自由に使用することができますが、 著作権はすべて作者にあります。
- 2. 本ソフトウェアを利用した事によるいかなる損害も作者は一切の責任を負いません。 自己責任の上で使用して下さい。
- 3. 配布、転載など自由に行って下さい。
- 4. 感想や要望、バグなどがありましたらメールにてお問い合わせください。 バグや要望などできる範囲で応えたいと思います。

# 2. インストール及びアンインストール

# 2-1. インストール

任意のフォルダに「DEC.jar」を格納して下さい。 エビデンスの出力先フォルダが必要になりますので、任意のエビデンス用の フォルダを用意して下さい。

# 2-2. アンインストール

「DEC.jar」を削除して下さい。

# 3. 初期設定

# 3-1. アプリケーションの実行

任意のフォルダに格納した「DEC.jar」をダブルクリックして下さい。



# 3-2. アプリケーションの起動

メイン画面が表示されます。デフォルトの挙動では、最後に開いていた設定ファイルを自動的に 読み込んで起動します。

🕌 DEC Ver 1.13.0			- 🗆 X
ファイル       環境設定       SOL実行       エビデンス	JDBC接続先 ユーザ バスワード JDBCドライバー Jarファイル 接続状況 接続 接続先名	jdbc:oracle:thin:@localhost:1521:SID oracle.jdbc.driver.OracleDriver 未接続	
	接続先一覧ファイル 接続先適用		選択

# 3-3. データベースへの接続と切断

## 1. データベースの接続

JDBC 接続先、ユーザ、パスワードを入力し、JDBC の Jar ファイルを指定した後に、 「接続」ボタンを押下すると、指定したデータベースに接続します。

🕌 DEC Ver 1.13.0			<u></u>		×
	JDBC 抽続先 ユーザ パスワード JDBCドライバー J&rファイル 挿続状況 接続 フィルタ 接続先名	jdbc:oracle:thin:@localhost:1521:SID oracle.jdbc.driver.OracleDriver 未接続		選択	
	接続先一覧ファイル 接続先通用	レ 一括検索		選択	

# 2. データベースの切断

接続中のデータベースから切断する場合は、「切断」ボタンを押下して下さい。

🎒 DEC Ver 1.13.0			200		×
ファイル					
□ <u>陸部変更</u> □ 303.実行 □ エビデンス	JU67撮続先 ユーザ バスワード JU60ドライバー Jarファイル 接続状況 提続 見扱先名	jdbc:oracle:thin:0localhost:1521:SID oracle.jdbc.driver.OracleDriver 未接続		違抗	
	接続先一覧ファイ) 接続先連用	レ <u> 一括検索</u>		選択	

# 3-4. 接続先の選択

「選択」にて、接続先一覧ファイルを指定すると、接続先の一覧を表示します。

					-		×
<ul> <li>□ 環境設定</li> <li>□ SOL実行</li> <li>□ エビデンス</li> </ul>	JDBC接続先 ユーザ パスワード JDBCドライバー	jdbc:orac	le:thin:@localho bc.driver.Oracle	st:1521:SI Driver	D		
X	Jarファイル 接続状況 <u>接続</u> フィルタ 接続先名	未接続				選折	
	接続先 接続先1 接続先2 接続先3	名	JDBC接続先 jdbc:orac jdbc:orac jdbc:orac	ユーザ surotest surotest surotest2	JDBCドラ oracle.jd oracle.jd oracle.jd	Jarファイ C:¥Users¥ xxxx2.jar C:¥Users¥	λν 
	198727 4		paperorae)	andtest	pracie.jd	. p., #USERS#	
	接続先一覧ファイル 接続先適用	,C:¥Users¥ 一括検:	yousuke#Desktop# 索	dec单接硫元	一覧.csv	) 重折	

接続先を選択した状態で「接続先適用」ボタンを押下すると、選択された内容で接続先の情報を 変更します。

							×
□ 環境設定	JDBC接続先	jdbc:orad	cle:thin:@local	nost:1521/pd	lborcl		
リンジェビデンス	ユーザ	kurotest					
	パスワード						
1		oracle in	the OracleDrive	r			
)	00001 0-171	practe.je			NMANDOS		
	Jarファイル	U: #Users	fyousuke¥Deskto	>¥dec¥ojdbc6	.jar	選折	
	接続状況	未接続					
	接続						
	-7414						
	接続先名						
3		1					
	接続分	<del>t名</del>	JDBC接続先	ユーザ	JDBC F 5.	Jarファイ	11
	接続先 1		jdbc:orac	kurotest	oracle.jd	.C:¥Users¥	
1	接続先2		jdbc:orac	kurotest	oracle.jd	. xxxx2.jar	
	接続元3		jdbc:orac	kurotest2	oracle.jd	. C:¥Users¥	
	接続元 4		jdbc:orac	kurotest	oracle.jd	. C:¥Users¥	
pt Sy I	<u>接线先2</u>  接线先3  接続先4		jdbctorac jdbctorac jdbctorac	kurotest kurotest2 kurotest	oracle.id oracle.id oracle.id	.xxx2.jar .C:¥Users¥ .C:¥Users¥	a trans transfer in
	接続先一覧ファイル 接続先適用	↓ C:¥Users¥	éyousuke¥Deskto 索	⇒¥dec¥接続先	一覧.csv	選択	

接続先一覧ファイルは文字コードがUTF-8のCSV形式のファイルで、「接続先名、JDBC 接続先、 ユーザ、パスワード、JDBCドライバー、Jarファイルのパス」が記載されているフォーマットが読み 込み可能です。

# 3-5. 一括検索

接続先を選択した状態で「一括検索」ボタンを押下すると、一括検索ダイアログを表示します。

<u> </u> 過 一括検索		×
検索するSOL (";"区切りで複数行・	を指定できます〉	
-		
接続先名	状態	
接続先名 接続先1	大敗得 大取得 士取7個	
接続先名 接続先1 接続先3		
接続先名 接続先1 接続先3	大態 未取得 未取得 未取得	
接続先名 接続先1 接続先3	大販 未取得 未取得 未取得	
接続先名 接続先1 接続先3	大敗 未取得 未取得	
接続先名 接続先1 接続先3	大取得 未取得 未取得	
接続先名 接続先1 接続先3	大取得 未取得 未取得	
接続先名 接続先1 接続先3	 未取得   未取得	
接続先名 接続先3	         大取得   	

テキストエリアに SELECT 文を入力して、「実行」ボタンを押下すると接続先に表示されている全てのスキーマに対して、同一の SQL 文を実行します。

serect # Trom.	emp;		
	情報	×	
(在)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)(古)	接続先名	状態 (#775-0/4-) / (# ) / (# )	
陵阮元( 接続先3		成功:2件 失敗:0件	

環境設定
 SOL実行
 エビデンス
 □ 2017/11/21 22:20:33.064\_一括出力(接続先3)
 □ 2017/11/21 22:20:32.288\_一括出力(接続先1)

検索結果はエビデンス配下に格納されます。

# 4. エビデンスの取得設定

データベースのエビデンスを取得する際は、どのテーブルをどの様な条件で 取得するか計画する必要があります。

本設定を行うことで、指定した複数のテーブルのエビデンスを1クリックで取得することが可能になります。

### 4-1. 取得パターンの設定

エビデンスを取得するグループを定義します。取得パターンは複数作成することが可能なので、テーブル単位や検索条件単位で自由にグループ化できます。

### 1. 取得パターンの追加

「環境設定」を選択した状態で、右クリックを行うと「取得パターンの追加」が ポップアップメニューで表示されます。

	***
」环境版	取得バターンの追加
〕エビデ	取得ハターンの追加

「取得パターンの追加」を選択すると、「取得パターンの登録」画面が表示されるので、 取得パターンを入力して、「登録」ボタンを押下して下さい。

	Construction of the second sec	
録	-	x
		=
		-
++>セ/	u l	Vi
	録 キャンセル	録  キャンセル

### 2. 取得パターンの変更と削除

「環境設定」の下に追加した取得パターンが表示されます。 追加された取得パターンを選択すると、右側に入力した内容が表示されます。 「変更」ボタンで設定内容を変更できます。 「削除」ボタンで取得パターンを削除できます。

□ 環境設定 • □ ユーザ指定 - □ 実行設定 - □ 任意SOLマスタ - □ 任意SOLマスタ	取得パターン (備考	ユーザ指定 ユーザを指定して絞り込む	
□ ハラメータマスタ □ エビデンス	変更	ĨIJĨŔ	v

## 4-2. 実行設定

追加した取得パターンの下に「実行設定」が表示されます。

「実行設定」を選択すると、右側にテーブル、シノニム、VIEW、任意の SQL が一覧で 表示されます。

※テーブル、シノニム、VIEW はデータベース接続中のみ表示します。

] <b>選択済み</b> ] TABLE 理名/論理名	<ul> <li>✓ 未選択</li> <li>✓ VIEW</li> </ul>	SYNONYM FREE	
種別	物理名	論理名	条件
種別 TABLE	物理名 HI_USER_INFO	論理名	条件
種別 TABLE TABLE	物理名 HI_USER_INFO USER_INFO	<u>論理名</u> ユーザ情報	条件
種別 TABLE TABLE TABLE	物理名 HI_USER_INFO USER_INFO USER_INFO2	<u>論理名</u> ユーザ情報 ユーザ情報2	条件
種別 TABLE TABLE TABLE TABLE	物理名 HI_USER_INF0 USER_INF0 USER_INF02 USER_INF03	論理名     ユーザ情報     ユーザ情報     ユーザ情報     ユーザ情報     ユーザ情報     ユーザ情報	条件
種別 TABLE TABLE TABLE TABLE SYNONYM	物理名 HI_USER_INF0 USER_INF0 USER_INF02 USER_INF03 EMPLOYEES	論理名 ユーザ情報 ユーザ情報犯 ユーザ情報犯 ユーザ情報犯 employees table. C	条件
種別 TABLE TABLE TABLE TABLE SYNONYM VIEW	物理名 HI_USER_INF0 USER_INF0 USER_INF02 USER_INF03 EMPLOYEES SIMPLE_USER_INF0	論理名 ユーザ情報版 ユーザ情報版 ユーザ情報版 ローザ情報版 employees table. C テストVIEW	条件

### 1. 取得対象の選択

左端のチェックボックスを ON にすることで、エビデンスの取得対象を指定できます。 右端の条件を指定しない場合、対象となるテーブルのレコードを全件取得します。 特定のレコードのみを取得したい場合は、条件を選択して下さい。 ※条件の作成方法については、「条件マスタ設定」を参照して下さい。 ※任意 SQL は、条件の設定が行えませんのでご注意下さい。 ※TABLE、SYNONYM、VIEW を選択した状態で右クリックを行うと、テーブル情報の表示と検索 ビューの表示が行えます。

### 2. フィルタ

フィルタを指定することで一覧に表示する内容を絞り込むことができます。

### 3. 検索ビュー

取得対象の選択にて、右クリックで「テーブルの検索」を選択すると検索ビューが表示されます。 テキストエリアに任意の SQL を記載し、実行ボタンを押下すると検索結果を画面下部の結果一覧 に表示します。また、コンボボックスにて検索したいテーブルを指定して鉛筆ボタンを押下すると、 指定したテーブルを検索する SQL をテキストエリアに出力できます。

	iĽi-						3 <u>403</u>	×
•	テーブル:EMF	) -		•	取得件数:13130	件(0.015秒)	1 / 27	-
SELECT EMP ,ENT ,ENT ,ENT ,NO FROM EMP DRDER BY	ID PAME RY_DATETIME RY_DATE TRY_DATE A ( EMP_ID							
	EMP ID				NO			 
1	EMP_ID	EMP_NAME	ENTRY_DA.	ENTRY_DA				 
1	EMP_ID	EMP_NAME test1	ENTRY_DA. 2017-09-2	ENTRY_DA	<u>NO</u> .5			
1	EMP_ID 1 10	EMP_NAME test1 test10	ENTRY_DA. 2017-09-2	ENTRY_DA. 2017-09-2	NO . 5			
1 2 3 4	EMP_ID 1 10 100 1000	EMP_NAME test1 test10 test100	ENTRY_DA. 2017-09-2	ENTRY_DA.	NO . 5			4
1 2 3 4 5	EMP_ID 1 10 100 1000 10000	EMP_NAME test1 test10 test100 test1000 test10000	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生	ENTRY_DA. 2017-09-2	<u>NO</u> .5			
1 2 3 4 5 6	EMP_ID 1 10 100 1000 10000 10000	EMP_NAME test1 test10 test100 test1000 test10000	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生	ENTRY_DA. . 2017-09-2 成 E成	<u>5</u>			
1 2 3 4 5 6 7	EMP_ID 1 10 100 1000 10000 10000 10001 10002	EMP_NAME test1 test10 test100 test1000 test10000 test10001 test10002	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生	ENTRY_DA. 2017-03-2 成 反	. 5			1
1 2 3 4 5 6 7 8	EMP_ID 1 10 100 1000 1000 10000 10000 10000 10000 100 1000 1000 1000 100 100 1000 100	EMP_NAME test1 test10 test100 test1000 test10000 test10000 test10002 test10003	ENTRY_DA 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生	ENTRY_DA. 2017-03-2 成 反 E成	. 5			
1 2 3 4 5 6 7 8 8	EMP_ID 1 10 100 1000 10000 10000 10001 10002 10003 10004	EMP_NAME test1 test10 test100 test1000 test10000 test10001 test10002 test10004	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生	ENTRY_DA 2017-09-2 成 E成 E成	NO .5 マリーキー指定)			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	EMP_ID 1 10 1000 10000 10000 10001 10002 10003 10004 10005	EMP_NAME test1 test10 test1000 test1000 test10001 test10002 test10002 test10004 test10004	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生 Where句の生	ENTRY_DA 2017-09-2 成 E成(プライ・ E成(プライ・ E成(プライ・	NO .5 マリーキー指定) たキー指定)			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	EMP_ID 1 10 1000 1000 10000 10001 10002 10003 10004 10005 10006	EMP_NAME test1 test100 test1000 test10000 test10000 test10002 test10003 test10004 test10005	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生	ENTRY_DA 2017-09-2 成 E成 E成 E成 (プライ モ 成 (遅択し)	NO .5 マリーキー指定) たキー指定)			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 11 12	EMP_ID 1 10 100 1000 1000 10001 10001 10002 10003 10004 10005 10006 10006 10007	EMP_NAME test1 test100 test1000 test10000 test10000 test10000 test10003 test10004 test10005 test10005	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生 ラージオブジ	ENTRY_DA. 2017-03-2 成 E成 E成 (プライー E成 (遅択し) ジェクトの出	NO .5 マリーキー指定) たキー指定) カ			
1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 10 11 12 13	EMP_ID 1 10 1000 1000 10001 10002 10003 10004 10005 10005 10006 10007 10008	EMP_NAME test1 test100 test1000 test1000 test10001 test10002 test10002 test10004 test10005 test10005 test10006	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生 ラージオブジ	ENTRY_DA. 2017-03-2 成 E成 三成(プライ・ 三成(遅れし) ジェクトの出;	NO 、5 マリーキー指定) たキー指定) カ			
1 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 8 9 10 11 11 12 13 14	EMP_ID 1 1 10 100 1000 10000 10000 10000 10002 10003 10004 10005 10006 10007 10008 10009	EMP_NAME test10 test100 test1000 test10000 test10000 test10003 test10004 test10005 test10006 test10006 test10007	ENTRY_DA. 2017-09-2 Insert文の生 Update文の生 Delete文の生 Where句の生 ラージオブジ	ENTRY_DA. 2017-09-2 成 E成 三成(プライ: 三成(プライ: 三成(選択し) ジェクトの出	NO .5 マリーキー指定) たキー指定) カ			

検索結果のレコードを選択して右クリックを行うと、ポップアップが表示され、選択したレコードの SQL 文(INSERT/UPDATE/DELETE/WHERE 句)をクリップボードにコピーすることができます。 また、ラージオブジェクトの出力を選択すると、BLOB や CLOB のデータを指定したフォルダ配下 にファイルとして出力できます。

# 4. テーブル情報

取得対象の選択にて、右クリックで「テーブル情報の表示」を選択すると指定したテーブルのカラム情報が表示されます。

カラム名         コメント         制約0 (P:PK.)         データタイプデフォルト値           PK1         P         VARCHAR2         N           PK2         P         VARCHAR2         N           VAR_VAUE         VARCHAR2         N           MM_VALUE         NMMER         Y           OATE_YAUE         DATE         Y           DATE_VAUE         DATE         Y           GATA         BLOB         Y           C_DATA         CLOB         Y	項目情報	DDL					
PK1         P         VARCHAR2         N           PK2         P         VARCHAR2         N           PK2         P         VARCHAR2         N           VAR_VALUE         VARCHAR2         Y           NUM_VALUE         VARCHAR2         Y           DATE         Y         Y           DATE_VALUE         DATE         Y           B_DATA         DL08         Y           B_DATA         DL08         Y	カラム名	<b>_</b> /	ント	制約(P:PK	データタイプ	デフォルト値	N
PY2         P         VARCHAR2         N           VAR_VALUE         VARCHAR2         Y           VAR_VALUE         NUMER         Y           DATE_VALUE         DATE         Y           DATE_VALUE         DATE         Y           DATA_ULUE         TIMESTAMP(6)         Y           DATA_ULUE         DATE         Y           DATA_ULUE         TAUSTAMP(6)         Y           DATA         BL08         Y           C_DATA         DL08         Y	PK1			Р	VARCHAR2		N
YAR_YAULE         YARCHAR2         Y           NUM_YALUE         NUMBER         Y           DATE_YALUE         DATE         Y           DATE_YALUE         DATA         Y           DATA         BLOB         Y           DATA         BLOB         Y           C_DATA         CLOB         Y	PK2			Р	VARCHAR2		N
NUM_YALUE NUMBER Y DATE_VALUE DATE Y TIME_VALUE TIMESTAMP(6) Y B_DATA BLOB Y C_DATA BLOB Y Y	VAR_VALUE	-		3	VARCHAR2		Y
DATE_YALUE DATE Y TIME_YALUE TIMESTAMP(6) Y DATA BLOB Y C_DATA BLOB Y C_DATA DLOB Y	NUM_VALUE			-	NUMBER		Y
TIME_YALUE TIMESTAMP(6) Y B_DATA BLOB Y C_DATA CLOB Y Y	DATE_VALUE				DATE		Y
B_DATA BLOB Y C_DATA CLOB Y	TIME_VALUE			3	TIMESTAMP(6)		Y
C_DATA      CLOB    Y	B_DATA			~	BLOB		Y
	C_DATA				CLOB		Y

#### SAMPLE\_TABLE(テーブル)

項目情報	DDL					
CREATE TAB	" VADOUADO	(10) NOT N	E_TABLE			
*PK2	VARCHAR2	(10) NOT NO (10) NOT N	ILL ENABLE,			
"VAB	VALUE" VA	RCHAR2(20)	See ennoce,			
"NUM	VALUE" NU	MBER(3,0),				
"DAT	E_VALUE" D	ATE,				
"TIM	E_VALUE" T	IMESTAMP (I	3),			
"B_D	ATA" BLUB,					
C_U CON	ATA CLUB,			V VEV ("DV1"	"DV0")	
LISING INDE	V POTEREE	O INITRAN	ADLE FRIMAP	255 COMPLITE	STATISTIC	0
STORAGE(IN	ITTAL 6553	NEXT 104	3576 MINEXTE	NTS 1 MAXEXT	FNTS 21474	8 =
PCTINCREAS	E 0 FREELI	STS 1 FREE	IST GROUPS	1 BUFFER POOL	L DEFAULT	F
TABLESPACE	"USERS"	ENABLE		1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		
) SEGMENT	CREATION	IMMEDIATE				
PCTFREE 10	PCTUSED 4	INITRANS	1 MAXTRANS	255 NOCOMPRE	SS LOGGING	
STURAGE (IN	111AL 6553	S NEXT 104	35/6 MINEXIE	I DUFFER DOOL	ENIS 214/4	8
TADI ESDACE	"HOEDO"	SIS I FREE	131 GRUUPS	I BUFFER_FUU	_ DEFAULT	
LOB ("B DAT	A") STORE	S BASICET	E (			
TABLESPACE	"USERS" EI	ABLE STOR	AGE IN ROW C	HUNK 8192 RE	TENTION	
NOCACHE LO	GGING					
STORAGE(IN	ITIAL 6553	8 NEXT 104	3576 MINEXTE	ENTS 1 MAXEXT	ENTS 21474	8
PCTINCREAS	E 0 FREELI	STS 1 FREE	IST GROUPS	1 BUFFER_POOL	DEFAULT	F
TADLESDACE	A / STURE :	AS BASIUNI	LE L	UNINE 0100 DE:	TENTION	
NOCACHE LO	COTNC E	NADLE STUR	AME IN KUW C	TUNK 0182 KE	LENT TON	-
4					1.6	T

X

### 4-3. 任意 SQL マスタ設定

エビデンスの取得にはテーブル、シノニム、VIEW だけではなく、任意の SQL を 実行して取得することもできます。

「任意 SQL マスタ」を選択すると、右側に任意 SQL の一覧と編集エリアが表示されます。



### 1. 任意 SQL の登録

任意 SQL 名とSQL 文を入力し、「新規登録」ボタンを押下することで 任意 SQL を登録できます。

#### 2. 任意 SQL の変更

ー覧エリアから登録済みの任意 SQLを選択すると、編集エリアに内容が表示されるので、 内容を変更後に「変更」ボタンを押下することで、任意 SQLを変更できます。

### 3. 任意 SQL の削除

一覧エリアから登録済みの任意 SQLを選択すると、編集エリアに内容が表示されるので、「削除」ボタンを押下することで、任意 SQLを削除できます。

# 4-4. 条件マスタ設定

エビデンスの取得時に検索条件や並び順を指定して取得することができます。 「条件マスタ」を選択すると、右側に条件の一覧と編集エリアが表示されます。

取得バターン	ユーザ指定		
条件 ユーザ指定	名 WHERE句 user_id = '\${user_id}'	ORDER BY	
			一覧エリア
条件名 WHERE句	ユーザ指定 user_id = '\${user_id}'		
ORDER BY			編集エリア
新規追加	変更削除	]	

#### 1. 条件の登録

条件名とWHERE 句を入力し、「新規登録」ボタンを押下することで条件を登録できます。 ORDER By が未指定の場合は、プライマリーキーによる昇順でソートします。 また、条件に使用する値には置換文字を指定可能なので、 テーブルの取得対象となるレコードを変更する場合は、WHERE 句の修正は行わず パラメータの修正にて取得対象を変更することが可能です。 ※パラメータについては、「パラメータマスタ設定」を参照して下さい。

### 2. 条件の変更

一覧エリアから登録済みの条件を選択すると、編集エリアに内容が表示されるので、 内容を変更後に「変更」ボタンを押下することで、条件を変更できます。

### 3. 条件の削除

一覧エリアから登録済みの条件を選択すると、編集エリアに内容が表示されるので、 「削除」ボタンを押下することで、条件を削除できます。

# 4-5. パラメータマスタ設定

条件マスタで設定した WHERE 句の置換対象文字と設定値を定義することで WHERE 句の内容を一括で変更することが可能です。 ※任意 SQL はパラメータによる置換が行えないのでご注意下さい。

「パラメータマスタ」を選択すると、右側にパラメータマスタの一覧が表示されます。

パラメータ名 ser idl	值1	-	
iser_lut			

#### 1. パラメータの設定

パラメータに置換対象文字を設定し、値に変換後の値を設定して下さい。 エビデンス取得時にWHERE 句のパラメータ名と一致する箇所を置換して SQL が実行されます。

#### 2. パラメータの追加

パラメータの種類を増やしたい場合は、「行の追加」ボタンを押下して下さい。

#### 3. 値の追加

同一の SQL を値を変えて取得したい場合は、「列の追加」ボタンを押下して下さい。

#### 4. パラメータの削除

パラメータを削除したい場合は、削除したい行を選択し「行の削除」ボタンを押下して下さい。

### 5. 値の削除

値を削除したい場合は、削除した列を選択し「列の削除」ボタンを押下して下さい。

# 5. SQL 実行

データコンバート用 SQL の動作確認などを実施する際に、SQL を実施する前後のエビデンスを 取得することで、データコンバート用 SQL の変更内容を確かめることができます。

変更内容が意図した内容でない場合は rollback を行い、意図した通りであれば commit を行うこと で安全にデータコンバートを行うことができます。

### 5-1. 更新用の SQL を実行する

「SQL実行」を選択すると、右側に実行するSQLの入力エリアと実行結果が表示されます。

実行する SQL に任意の更新用 SQL を指定して、SQL 実行ボタンを押下すると、実行した結果を 実行結果エリアに表示します。

SQLを実行した結果、1行以上のデータが更新・登録された場合に rollback ボタンと commit ボタンが押下できるようになります。必要に応じて rollback あるいは commit を実施して下さい。

なお、rollbackや commit を行わずデータベースの切断を行った場合は、自動的に rollback が実行されるのでご注意下さい。

€113 200F	(, <u>k</u> w	U C#4017@1	B)上(ご よ 9 /			
-						
<b>《行結果</b>	_	_		_	_	
v.						
	- 1	rollback	0.000	ae 11	実行結果の	マリク

# SQL 入力エリアで右クリックを行うとペースト機能を使用できます。

項目名	。 1993年1月1日日日日日日日日開始開始。 1993年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日
In 句形式で貼り付け	クリップボードの改行データを IN 句の形式で指定位置に貼り付ける。

	5-510.0	AMPLE_INDLE			42171792.01	T.	17.1		
ECT PK1 ,PK2 ,VAR_V ,NUM_V ,DATE_ ,TIME_ ,B_DAT ,C_DAT M SAMPL ER BY P	ALUE VALUE VALUE VALUE A A E_TABLE K1, PK2	町句形式で貼り	1411						
	PK1	PK2	VAR VALUE	NUM VALUE	DATE VAL	TIME VALUE	B DATA	C DATA	I
	1	1	test1改行	0	2015-01-0	2015-01-0		テストデ	
	1	2	test2	1	2015-01-0	2015-01-0		テストデ	1
	12								

# 6. エビデンスの取得

設定済みの取得パターン内容に従って、データベースのエビデンスを取得します。

### 6-1. 出力対象の設定

「エビデンス」を選択すると、右側に取得パターンの一覧が表示されます。

出力したい取得パターンと値を選択して下さい。

値はパラメータマスタで登録した値を意味し、本画面にて出力対象とする値を 選択することができます。

出力先は取得したエビデンスファイルの格納先を指定します。

エビデンス名には、任意でエビデンスを識別する名称を設定できます。

		加加方	101	
ample				
+	<u>v u v v</u>	W leave Waynet an W	DashtorWeinVeri	22240
ŧ.	¥¥¥¥.	¥Users¥kurotan¥	Desktop¥dec¥ev i	選択
ŧ .	.¥.¥	¥Users¥kurotan¥	Desktop¥dec¥evi	違択

# 6-2. エビデンス出力

「エビデンス出力」ボタンを押下すると、エビデンスの取得状況ダイアログが表示されます。 条件マスタの WHERE 句や ORDER BY、任意 SQL の SQL 文に誤りがある場合、 取得エラーが発生しますので、取得結果が正常であることを確認して下さい。

■取得パターン:ユーザ指定 テーブル:USER_INFO 値・1	
————————————————————————————————————	
【処理が完了しました】 正常終了[1]件 異常終了[0]件	
100%	

エビデンスの取得が完了すると、エビデンス配下に出力したエビデンスが表示されます。



エビデンスを選択すると、右側にエビデンス内容が表示されます。 画面上部に取得したテーブルのリストが表示され、画面下部に選択したテーブルの 内容が表示されます。

取得バター	ン名	テーブル名	値		
ユーザ指定	SIMPLE	USER_INFO	1		
ユーザ指定	音定 USER_INF02		1		
ユーザ指定	USER_I	NF03	1	Į.	
ユーザ指定	現在日	時	1		
ユーザ指定	EMPLOY	EES	1		
ユーザ指定	HI_USE	R_INFO	1		
ユーザ指定	USER_I	NFO	1		
EMPLOYEE ID		LAST NAME	EMAIL		
100	Steven	King	SKING	515 123 4567	ì,
101	Neena	Kochbar	NKOCHHAR	515, 123, 4568	t
102	Lex	De Haan	I DEHAAN	515, 123, 4569	1
102	Alexander	Hunold	AHINOLD	590.423.4567	f
104	Bruce	Ernst	RERNST	590, 423, 4568	ł
105	David	Austin	DAUSTIN	590,423,4569	1
106	Valli	Pataballa	VPATABAL.	590,423,4560	f
107	Diana	Lorentz	DLORENTZ	590,423,5567	f
108	Nancy	Greenberg	NGREENBE	515,124,4569	1
109	Daniel	Faviet	DFAVIET	515,124,4169	1
110	John	Chen	JCHEN	515.124.4269	1
111	Ismael	Sciarra	ISCIARRA	515.124.4369	1
112	Jose Manuel	Urman	JMURMAN	515.124.4469	1
113	Luis	Popp	LPOPP	515.124.4567	1
114	Den	Raphaely	DRAPHEAL	515.127.4561	1
115	Alexander	Khoo	AKHOO	515.127.4562	1
116	Shelli	Baida	SBAIDA	515.127.4563	1
117	Sigal	Tobias	STOBIAS	515.127.4564	1
1.1.7					1
118	Guy	Himuro	GHIMURO	515.127.4565	1.

## 6-3. エビデンス取り込み

「エビデンス取り込み」ボタンを押下すると、エビデンスの取り込みダイアログが表示されます。 本画面にて、CSVファイルをDECのエビデンスとして取り込むことが出来ます。取り込んだファイ ルは、DECにてエビデンス比較を行うことが可能です。

」エビデンスの取り込み	Elener II		
取得バターン	種別: テーブル名	インボート元	
ファイルのインボート	▼ ファイル名を使用	<b>t</b> ろ <b>▼ ■</b>	*定
エビデンス取込	++>\tru		

「追加」ボタンを押下して CSV ファイルを選択すると、リストに取り込み対象のファイルが追加することができます。

CSVファイルは、以下のフォーマットを想定します。

- ・文字コードはUTF-8
- ・1行目をタイトル、2行目以降をデータ行
- ・データに改行を含む場合はダブルクォートにて囲む

「削除」ボタンを押下すると、リストで選択した取り込み対象のファイルを削除することができます。

「設定」ボタンを押下すると、リストで選択した取り込み対象のファイルの情報を設定することができます。設定する内容は、コンボボックスにて取得パターンとテーブル名を指定します。

テーブル名にテーブルあるいはシノニムを指定した場合、CSVファイルのカラムと指定したテーブルやシノニムのカラムが一致する必要があります。

※テーブル名のテーブル、シノニム、VIEWはDB接続中のみ選択可能です。

「エビデンス取込」ボタンを押下すると、左ツリーのエビデンス配下に取り込んだエビデンスが表示 されます。

# 6-4. エビデンスのExcel 出力

エビデンスを選択した状態で右クリックを行うと、ポップアップメニューで 「Excel 出力」が表示されます。



「Excel 出力」を押下すると、出力設定が表示されます。

🗌 処理前のエビデンス	スを出力する
🗌 処理後のエビデンス	スを出力する
☑ 差分のエビデンスな	を出力する
🧱 差分があったテー	ブルのエビデンスだけを出力する
☑ 差分エビデンスに3	変更前の値を出力する
☑ 変更前の値はコ	メントで出力する
🗹 マスタファイルを(	使用する
·s¥kurotan¥Desktop¥d	ec¥master.csv ファイルを開く
🗹 テンプレートファイ	イルを使用する
<pre>%urotan#Desktop#dec</pre>	¥template.xls ファイルを開く
NULLを表す文字列	<null></null>
🗌 出力ファイル名を打	指定する
出力ファイル名	tešt
■ 差分比較で処理前行	途の値に差分があっても無視するカラム
names, age	
☑ 強制的にプライマ!	リーキーを変更する
ОК	Cancel

「OK」ボタンを押下すると、Excel 出力状況ダイアログが表示されます。 出力が完了すると、Excel が起動して出力結果を表示します。 なお、出力ファイルは「出力対象の設定」の出力先で指定したフォルダに出力されます。

	デンフ方能	新中						
エビ ユーザ Exce	デンスの出 デンスの出 指定_USER デンスの出 1の起動器 1の起動終	力開始 INFO_1を 力終了 行	出力中					
			100%					
			8818.7					
			閉しる					
_	_							
Microsoft Excel	- Evidence(201	30523_233843	).xis					(1)
Microsoft Excel ) 2#7.6(D) MBB	- Evidence(201 8(2) - 8(77)/0 - 14 6(1) - (2) -	30523_233843 Au #1700 5 Ra #1. 47 -	().xis 	4519300 AJU7(8) A 24 24 60 40	¥. 1008 - (2)		00-207-1	2
Microsoft Excel ) 27/3(D) SEN Las Sa Sa Las Al	- Evidence(201 8(2) @77(y) 18 @ 0, 2* X × 10 × 3 × =	20523_233843 入① 書式(2) > Ra (2) (ボート ア (1) (ボート) 取(用)(ターン 日	)).xks 	(2)17000 ∧117(8) ∧ \$1 \$1 \$0 \$0 , 58 23 \$0 \$0 0	¥0 5 1300 - 20 € ⊞ - 3≏ - , €		Ch2034 G	2
	- Evidence(201 (E) 8777(y) 18 (B) (B, (*) 18 (*) 19	30523_233843 入口 参1500 5 Ra (四) 47 (2) 5 J (1) (1) (2) (2) (2) 月 (1) (2) (2) (2) (2) 日 (1) (2) (2) (2) (2) 日 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	i).xis →A(1) ≠ →(0) ⊂ > - ↔ - ≤ = 12 ← x ≤ C 18 − 1	4219900 AU200 A 24 24 Mar 40 5 54 25 Mar 40 0	₩0 1000× - 29 E = - 48	• • • • • •	Cha994 G	2
Microsoft Excel ) 7 × 7 × 7 × 10 isi A1 A1 A1 A2 A1 A2 A1 A2 A2 A2 A2 A2 A2 A2 A2 A2 A2	- Evidence(201 8(D @ Tr(y) 18 () (	ao523_233944 入口 参5700 5 和a 回 の「 × ア Ⅱ 三日 酒 取得パターン 日 一一元を名 つ	i).xks →A(1) F → (0) 2 - C* - 5 = E4 5 = E4 6 C 18 1	4289000 AU2000 A \$4 \$4 \$4 \$40 \$60 5 56 29 \$4 \$4 \$0 0	¥∆ j 100% - (2) E	F	0 0	2
Microsoft Excel 2 ml B(D) isi Al Al Al Al Al Al Al Al Al Al	- Evidence(201 8(D & Tr(y) 18	30523_733843 入口 書での) 5 7 Ⅱ 言 取得パターン 日 - <u>フ</u> ええ 0	),xis 	42月20日 AU2(日) 本 会社 会社 会社 1 58 233 (日本 日 0	₩ 5 100% - 29 E :		0	2
Microsoft Excel 2rd 8(D) 10 isi A1 A1 A1 A1 A1 A1 A1 A1 A1 A1	- Evidence(201 ND 8/Tr(y) 18 18 Q 27 X 19 X 19 X 19 X 19 X 19 X 10 X 10 X 10 X 10 X 10 X 10 X 10 X 10	30523_733843 入口 書で(2) 5 和 団 (2 <sup>4</sup> ) 二 ア エ 二 三 酒 取得パターン 日 一 二 フえる。 0	).xis =-A(D ≠-S(D) C = == E   Φ × C C 10 10 1	· 2010년 AU 2010 주 24 24 40 40 40 · 34 25 18 18 0	₩ 3 100% - 29 E :		6	2
Microsoft Excel 27-(AC) Sile isi Al A AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	- Evidence(201 KD & Rifty) #	30523_233943 ACD 書式(30) 5 陶a (四) 47   10   10   ア 11   10   10   10   10   10   10   10	),skt 	(こ)(2006) AU(2006) 不良1 (201 (201 (201 (201 (201 (201 (201 (20	₩ 5 100% • (2) E E	v) • • A • •	€#±29%r.	2
Microsoft Excel ) フォイタ(E) 通知 ) ローク (E) (ローク) ini A1 A2(5)(2)-2-2 ユーグ (E) (2)	- Evidence(201 KD @FTr(y) II @FDs (\$7   2 > 10 >   10   2   0   0   0   0   0   0   0   0   0   0	30523_233943 入口 書式(2) 5 水 工 三王 (王 政(単)(ターン 日 - フええる) つ	),xis 	4-21730월 AU-2(1) 주 81 24 월 전 13 , 58 - 23 전 13 전 13 0	≥0 5 1000 - 29 E E	v) • • A • -	€ 6	2
Microsoft Excel ) 2+/ 8(2) 30 iai A1 10(8) (2	- Evidence(201 8(D #RTicy) 18 (D 2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	30523 233944 入口 巻すての 5 和 間 ダー 一 二 二 二 二 二 10(日) / シーン ラ 一 二 元 主 つ	).xis ====================================	->************************************	¥∆ 5,1004 - (2) E E		6	2
Microsoft Excel	- Evidence(201 MD & Tricy II - Evidence(201 - Evidence(201	20522_231843 入口 参式(の) 5 発達 団 ダード メ エ   単 取(#//ターン - ラんき - つ	).xis →ACD 7 <sup>-</sup> -XOD 7 5 <sup>-</sup> = E M ( ⊕ X 5 <sup>-</sup> = E M ( ⊕ X 5 <sup>-</sup> = 1 1 1 1 1 1	N2F2000 AU2(10) 주 왕 왕 왕 (中日 5월 23] (中日 0	20 3 1005 - 39 € Ξ - 30 - 3 E		6	2
Microsoft Excel ) 2-74/D State S S S S S A1 R(9):2	- Evidence(201 MD #/TxQ H D D T M T M T M T M USER B#	10521_231944 入口 きての 5 階 (朝/5年) ア 1 二 三 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	).xis 	4:217900 AU-7(B) ★ 41 \$1 \$0 \$0 5 \$1 \$3 \$0 \$0 \$0 0	¥0 5 1000 - ∅) ■ - ▲ - , E	×) ▲] F	6	2
Hicrosoft Excel Pr(AC) M AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	- Evidence(201 k(D = #:m/o) # @ (A = 7) / K = 10 × 10 w = (23) / 2 (23) / 2	20122 233843 入位 参式(の) 3 和 画 ぞ / - フ A 画 画 で / - フ A 画 画 の	).xts →ACD 7 → 200 °C S = B = B   Φ % C 0 10 10 1	4-2170000 AU-7(10) たまは Mag 編 、 始 23 (0F t) 0	¥2) ≱ 100x - 00 ₹ ⊒ - 30 - 0 ₹	•    ► ● ▲ - •   ₽	6	
Hicrosoft Decel	- Evidence(201 ND 8-FN) 18 D 8-70 18 V 10 D V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20	2013年2月21日4日 入口 書式(の) 5 月 4日	) === 	4-2193000 AU-7019 不 94 名) MBM 道 、 54 213   088 1日 0	≿i 3 100× - @) € ⊡ - & - , €		6	
	- Evdence(301 KD 98/76/ 16 0 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	20222 23104 A	).sts ACD 99(Q) C 2	4-2 PT3000 へいよう(11) 本 身1 支1 (100 単の 5 31 23) (101 11 0	λύ 100x - (2) ε (Ξ - Φ - ) ε	↓↓↓ <t< td=""><td><u>с</u> 6</td><td></td></t<>	<u>с</u> 6	
	- Evidence(301 MD 87R/0 18 V 10 V 10 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 20 V 2	20521 233944 入口 書 (200 ) 5 月 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 二 日 〇 二 二 二 二 二 〇 二 二 二 二 〇 二 二 二 〇 二 二 二	)	していている へいさいし た 多 1 3 1 3 1 3 1 3 1 4 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	λά 1 100 - Ο) Ε Ο - Φ Ε	ч] А Р	6	
	- Evidence(201 MD 875/0 19 0 20	30521_233943 Au #rKC0 5 # 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10	) - M 	42月70일 AU2109 유 한 감 (編) 編	₩0 5 100 × 00 E E	×) • • •	Сжэуэл- G	
	- Southerward 10 NLD @R/m(1/2) 18 9 (0 %) 19 9 (0 %) 19	20522 73844 AD 8750 5 8 8 7 / u = 8 N (4) 5	) sis - ALD 3 - SQ 0 - C - (0 - S) - C - (0 - S)	1677900 AU210 A 91 24 19 4 0 0	<u>x</u> <u>y</u> toox - (2) <u>c</u> <u>c</u>	F	6	
	- Evidence(201) MD 87/50 H 9 10 v 1 v 10 v 1 v 20 v 20 v 1 v 20 v	30523_233943 入口 豊大公 3 日本 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	) - M - ALD 37 - BAD 0 - Q S - C - M - Q S	60-1990年 AD5700 み 約 21 回日 昭 , 31 29 回日 0	20 5 100 - 00 E		6 6	
	- Southervac (201) ILD #7/70/ 11 ILD #7/70/ 11 ILD #7/70/ 11 - 10 * 0 - 10 *	2003 (1) 2010 入口 単マロ 3 第4 回 マイト 第4 回 マイト 第4 回 マイト 第4 回 マイト 第4 回 マイト 第5 回 ストーン 10 マイトーン 10 マイン 10 マイトーン 10 マイトーン	) - 56 - 76 - 75 - 50 - 0 - 76 - 10 - 76 - 76 - 10 - 76	6299900 A05700 A 34 34 60 60 - 34 24 60 60 - 34 29 60 - 0	€ 100 - 02) € 	≠ ] <b>▶</b> ● <u>→</u>	G	
	- Evidence(201) MD 87750 H 10 v 10 v 1 v 10 v 10 v 20 v 2 v 20 v 2 0 mmR 19	20023_223000 入口 書式(の) 5 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		40-2000 AD-700 AF 93 31 國連 3 24 (24 07 0 0	50 1000 - 50 E		して セキュリティー 	
	- Evidencia(201) MLD #Fifty II • 10 - X • 10 - X	2003年、2月19日 入口 書がつ 5 階。優 (デーン アロード) 日 (日)(ターン 〇 〇 八子王) 〇 〇 八子王)	2000 	162199300 AddA100 Ar 04 \$4 \$60 #0 9 0			6	

※エクセルのセルに出力する文字数には上限があるため、30000文字を超えるデータを出力する場合は、対象データはファイルとして出力されます。なお、出力先はセルに記載されます。

## 6-5. エビデンスの削除

エビデンスを選択した状態で右クリックを行うと、ポップアップメニューで 「エビデンスの削除」が表示されます。 「エビデンスの削除」を押下すると、指定したエビデンスが削除されます。

なお、エビデンスの削除は複数指定することも可能です。

- 🗋 2013/05/23 23:27:2	4.584_sample
	Excel出力
	エピデンスの削除

# 6-6. 差分エビデンスのExcel 出力

更新処理を行う前後のエビデンスを取得することで、差分エビデンスを Excel 出力することができます。 処理前に取得したエビデンスと処理後に取得した両方のエビデンスを選択し、 右クリックを行うと、ポップアップメニューで「Excel 出力」が表示されます。 ※エビデンスの複数選択は、Ctrl キーを押しながらマウスで選択して下さい。

- □ ハラス-33 スタ ■ エピデンス - □ 2013/05/23 23:49:23.036\_after - □ 2013/05/23 23:49:18.496\_before

「Excel 出力」を押下すると、出力設定が表示されます。

「OK」ボタンを押下すると、Excel 出力状況ダイアログが表示されます。 出力が完了すると、Excel が起動して出力結果を表示します。 なお、出力ファイルは「出力対象の設定」の出力先で指定したフォルダに出力されます。

# 7. エビデンス出力設定

エビデンス出力時に表示される出力設定画面にて、Excelの出力内容を設定できます。

### 7-1. 出力対象の設定

本項目は、差分エビデンスの出力時のみ設定可能な内容です。

```
    ✓ 処理前のエピデンスを出力する
    ✓ 処理後のエピデンスを出力する
    ✓ 差分のエピデンスを出力する
    ■ 差分があったテーブルのエピデンスだけを出力する
```

### 1. 処理前のエビデンスを出力する

チェックすると、処理前のエビデンスを Excel に出力します。 シート名が「B」で始まるシートが処理前のエビデンスとなります。

### 2. 処理後のエビデンスを出力する

チェックすると、処理後のエビデンスを Excel に出力します。 シート名が「A」で始まるシートが処理前のエビデンスとなります。

### 3. 差分のエビデンスを出力する

チェックすると、処理前と処理後の差分を Excel に出力します。 シート名が「D」で始まるシートが処理前のエビデンスとなります。

### 4. 差分があったテーブルのエビデンスだけを出力する

チェックすると、差分(追加/変更/削除)があった場合だけ、 上記1~3で指定されたエビデンスを Excel に出力します。

### 7-2. 変更前後の値

本項目は、差分エビデンスの出力時のみ設定可能な内容です。

#### ☑ 差分エビデンスに変更前の値を出力する

#### ☑ 変更前の値はコメントで出力する

1. 差分エビデンスに変更前の値を出力する

チェックすると、差分エビデンスの値に、変更前と変更後の値を出力します。

2. 変更前の値はコメントで出力する

チェックすると、変更前の値をコメントで出力します。チェックない場合は変更前の値をセル内に出力します。

※チェックしない場合の出力時

8 9 10	USER_ID 1 2	USER_NA hoge	USER_NA ほげ 変更フーザ	AGE 37 40	BIRTHDAY 2011-11-30 00:04:26.0
11. 変更	3	hoge3	[before] 追加 [after] 追加(変 更)	33	<null></null>

※チェックした場合の出力時

1						
8		USER ID	USER NA	USER NAME KANA	AGE	BIRTHDAY
9		1	hoge	ほげ	37	2011-11-30 00:04:26.0
10		2	hoge2	変更ユーザだよ	49	AUNIA
11	変更	3	hoge3	追加(変更)	33 追加	
12			0.000			
13						11

### 7-3. マスタファイル

マスタファイルを使用することで、エビデンスに出力する値に定義名を付与できます。 マスタファイルは以下のCSVフォーマットで記載します。 ※文字コードはMS932

テーブル名,カラム名,値:定義名/...(繰り返し)

本ファイルで指定した「テーブル名」の「カラム名」に対して、出力内容が「値」と 一致する場合は、「値:定義名」で出力します。 ※テーブル名は「\*」と入力することで、全てのテーブルを対象にすることができます。

以下のように、全てのテーブルの削除フラグに定義名を設定します。 \*,DELETE\_FLAG,0:有効/1:論理削除↓

出力設定にて、上記で設定したマスタファイルを指定すると、 DELETE\_FLAGに値と定義名が表示されます。

USER_ID	USER_NA	USER_NA	AGE	BIRTHDAY	DELETE_FLAG
1	hoge	ほげ	37	2011-11-30	0:有効
2	hoge2	変更ユーザ	40	<null></null>	1:論理削除

## 7ー4. テンプレートファイル

試験用のエビデンスフォーマットが指定されている場合に、テンプレートファイルを指定 することで、本ツールが出力するエビデンスを指定された Excel ファイルに追加して 出力することができます。



### 7-5. NULL 文字の設定

データが NULL の場合に、エビデンスに出力する文字列を指定します。

NULLを表す文字列

### 7ー6. 出力ファイル名の設定

「出力ファイル名を設定する」にチェックをしなかった場合、一時ファイルとして Excelを 出力します。本ファイルは、ツール終了時に自動的に削除されます。

「出力ファイル名を設定する」にチェックして、出力ファイル名が未指定の場合、出力した Excel のファイル名は「Evidence(YYYYMMDD\_HHMMSS).xls」となります。本項目に値を入力するとファイル名の「Evidence」を設定した内容で置き換えます。

□ 出力ファイル名を指定する				
出力ファイル名	test			

### 7-6. 除外カラムの設定

「差分比較で処理前後の値に差分があっても無視するカラム」にチェックがある場合、テキスト ボックスにて指定されたカラムを比較対象から除外します。テーブルの登録日時や更新日時と いった必ず差分が発生するカラムを除外することで、出力結果の目視確認を軽減できます。 以下のフォーマットで除外カラムを指定できます。

☑ 差分比較で処理前後の値に差分があっても無視するカラム

user\_info.names, age

EX)テーブルAのカラムAを除外、全テーブルのカラムBを除外する テーブルA.カラムA,カラムB

※テーブル名は省略可能です。

## 7-7. 強制プライマリーキーの設定

「強制的にプライマリーキーを変更する」にチェックがある場合、テキストボックスにて指定された カラムをプライマリーキーとみなしてテーブル比較を実施します。通常、VIEW や任意 SQL の取 得結果はプライマリーキーが存在しないため比較を行えませんが、本指定を行うことで比較を行う ことが可能になります。

☑ 強制的にプライマリーキーを変更する

test\_view:id/name, テストSQL:id

EX) 取得パターンAの ViewAのカラムAとカラムBをPKとして比較、 任意 SQLのカラムCをPKとして比較する

取得パターン A. ViewA:カラム A/カラム B, 任意 SQL:カラム C

※取得パターン名は省略可能です。

# 8. ファイル操作

ファイル操作を行う場合は、メニューのファイルを押下して下さい。

ファイル	
闘<	1
保存	ļ
別名で保存	
閉じる	

### 8-1. 開く

既存のファイルを開く場合は、「開く」を押下して対象となるファイルを選択して下さい。

### 8-2. 保存

現在の内容を保存する場合は、「保存」を押下して下さい。

### 8-3. 別名で保存

現在の内容を別のファイルとして保存する場合は、「別名で保存」を押下して下さい。

### 8-4. 閉じる

現在の内容を破棄する場合は、「閉じる」を押下して下さい。

### 9. ツールの設定

本ツールの共通設定は、DEC.jarと同フォルダに出力される「decConfig.xml」を 直接変更することで、設定変更が可能です。 ※本ファイルは、ツールの初回起動前は存在しませんのでご注意下さい。

修正時に本ファイルが破損した場合は、本ファイルを削除することで、 次回起動時はデフォルトの設定で起動されます。

### 9ー1. フォントとサイズ

フォントとサイズを変更する場合は、fontNameとfontSizeを変更して下さい。 ただし、画面の自動調整は行われませんのでご注意ください。

### 9-2. 起動時の自動読み込み

ツール起動時に最後に開いていたファイルを読み込まない場合は、startFileReadFlagを 「false」に変更して下さい。

### 9-3. 検索ビューの1ページ表示件数

検索ビューの1ページに表示するレコード数を変更する場合、pageNumを任意の値に変更して ください。

```
<void property="pageNum">+
    <int>500</int>+
    </void>+
```

### 9-4. 検索ビューのフェッチサイズ

SELECT 時のフェッチサイズを変更する場合、fetchSize を任意の値に変更してください。

# 10. こんな時は?

## 1. OutOfMemory が発生します。

本アプリにて処理するデータ量が膨大となった場合に、メモリエラーが発生します。 OutOfMemoryが発生した場合は、以下のいずれの手順を行ってください。

・startup.batから実行することで本アプリが使用できるメモリを増やすことができます。

- ・エビデンスで取得しているテーブルのデータ量を少なくしてください。
- ・不要なエビデンスファイルを削除してください。
- ・出力設定で「処理前のエビデンスを出力する」と「処理後のエビデンスを出力する」の チェックを外してください。

# 変更履歴

バージョン	日付	内容
1.13.0	2017/11/21	検索ビューの初期表示時に検索しない方法を追加。 検索ビューの1ページ表示件数とフェッチサイズを設定可能 に修正。 検索ビューでSQL文の処理時間を表示に追加。 検索ビューのSQL文の実行をスレッド化し、同時に実行可能 に修正。 設定画面のJDBCドライバーの指定を変更可能に修正。 設定画面に接続先一覧を追加。 設定画面に一括検索を追加。 エビデンスの結果画面にSQL実行結果とException情報を追 加。
1.12.0	2015/11/07	検索ビューの SQL エディタに IN 句ペースト機能追加。 検索ビューで指定カラムで Where 句の生成を追加。 Excel 出力でセルに出力するデータが 30000 文字以上の場合 はファイルとして出力するように修正。
1.11.1	2015/08/17	Date 型の表示不具合を修正。 4000 バイトを超える SQL 文生成に対応。
1.11.0	2015/04/21	テーブル情報ダイアログの機能強化。 検索ビューに SQL 文生成機能を追加。 検索ビューにラージオブジェクトの出力機能を追加。
1.10.0	2014/09/24	ファイル選択ダイアログのデフォルト表示するパスを最後に開いたフォルダに変更。 CSVファイルからエビデンス取込を追加。
1.9.0	2014/07/19	検索ビューにページング機能を追加。 比較時の除外カラム指定を追加。 比較時のプライマリーキー指定を追加。 比較時の除外カラム指定を追加。(1件のみ指定可) 比較時のプライマリーキー指定を追加。(1件のみ指定可)
1.8.0	2014/05/19	実行設定画面から検索ビューの呼び出しを追加。
1.7.0	2014/03/14	参照先ファイルのパスを絶対パスから相対パスに変更。
1.6.1	2013/12/02	SQL 実行に伴う不具合を修正
1.6.0	2013/11/14	SQL 実行ダイアログを追加。
1.5.0	2013/10/24	エビデンス出力設定の動作を改善。 エビデンス削除に関する不具合を修正。
1.4.0	2013/09/18	実行設定画面からテーブル情報ダイアログを表示する処理を 追加。

1.3.0	2013/08/15	マニュアルに免責事項を追加。 テーブル情報ダイアログを追加。
1.2.0	2013/07/08	ウインドウのサイズ変更対応。
1.1.0	2013/06/14	実行設定画面にフィルタを追加。 エビデンスファイルの軽量化。 エビデンス情報画面の追加。 Excelの一時出力機能の追加。
1.0.0	2013/05/26	初版リリース。